

科目名	博物館資料論	
担当者	山下 廣幸 / YAMASHITA, Hiroyuki	
科目情報	特別講座科目 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
	学芸員科目 / 必修 (法定科目名「博物館資料論」)	
科目概要	授業内容	博物館資料の意義、資料収集の理念と方法及び資料化の手順等について学び、あわせて薩摩の美術・工芸資料を通して博物館資料の本質を理解する。
	到達目標	博物館の大きな使命の一つが資料を収集し、保管し、それらを未来へ伝達することであるが、収集した「モノ」を「博物館資料」に資料化する手順を理解し、収集した資料を展示に活用できるようにする。また、地元薩摩の美術・工芸資料についての基礎的な知識を習得することができる。
授業計画	(1) 博物館の仕事 (オリエンテーション) (2) 博物館における資料の意義 (3) 資料収集の理念と方法 (4) 資料化の手順 (5) 資料の分類・整理 (6) 資料の保存 (7) 資料の収蔵施設と設備 (8) 二次資料の活用 (9) 資料の展示と活用 (10) 博物館における調査・研究 (11) 薩摩の美術・工芸資料 薩摩焼① (12)                    "                    薩摩焼② (13)                    "                    薩摩刀① (14)                    "                    薩摩刀② (15)                    "                    薩摩画壇	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	毎回授業終了後、授業内容の理解度をみるためにショートレポートを課す。
使用教材・参考文献	【教】教科書は特に指定しない。毎回プリントを配布する。 【参】全国大学博物館学講座協議会西日本支部編『新しい博物館学』、芙蓉書房出版、2008年 ISBN 978-4-8295-0416-1	
成績評価方法と基準	博物館資料の意義とその資料化の手順及び活用について理解できたら合格とします。 毎回授業後のショートレポート (30点) と終了試験 (70点) で評価します。	
備考		